

研究・調査報告書

報告書番号	担当
2 3 2	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名（原題／訳）	
Screening for alcohol problems: what makes a test effective? アルコール問題のためのスクリーニング 何が試験を有効にするか?	
執筆者	
Stewart SH, Connors GJ.	
掲載誌（番号又は発行年月日）	
Alcohol Res Health. 2004-2005;28(1):5-16.	
キーワード	
アルコールと他の薬剤、スクリーニングテストの使用法、アルコールと他の薬剤とのスクリーニングと同定、リスクアセスメント、測定の特異度、測定の感度、予測妥当性、アルコール使用による障害同定テスト	
要 旨	
<p>スクリーニングテストは様々な設定と文脈で役に立つが、全ての障害がスクリーニングに適用可能ではない。アルコール使用異常(AUDs)と他の飲酒問題は疾患発生と死亡の主な原因であり、集団で広がっている問題である。効果的な治療は利用可能であり、早期発見と介入で患者アウトカムは向上可能である。それゆえ AUDs のリスクをもつ、またはリスクを持つ可能性のある人々を同定するために、スクリーニングテストを使用することは有益であろう。臨床の設定における有用性に影響を及ぼすスクリーニングテストの特徴には、それらの妥当性、感度、特異度が含まれる。適切に実施されたスクリーニングテストは臨床家にとって、個々の患者が障害をもつ／もたない確率をうまく予測する手助けになる。これは、集団におけるスクリーニングの陽性／陰性的中度のような変数を、質的もしくは量的に推定することによって、またスクリーニングの結果に基づいてある障害を人が持つ確率を決定することによって、達成される。</p>	